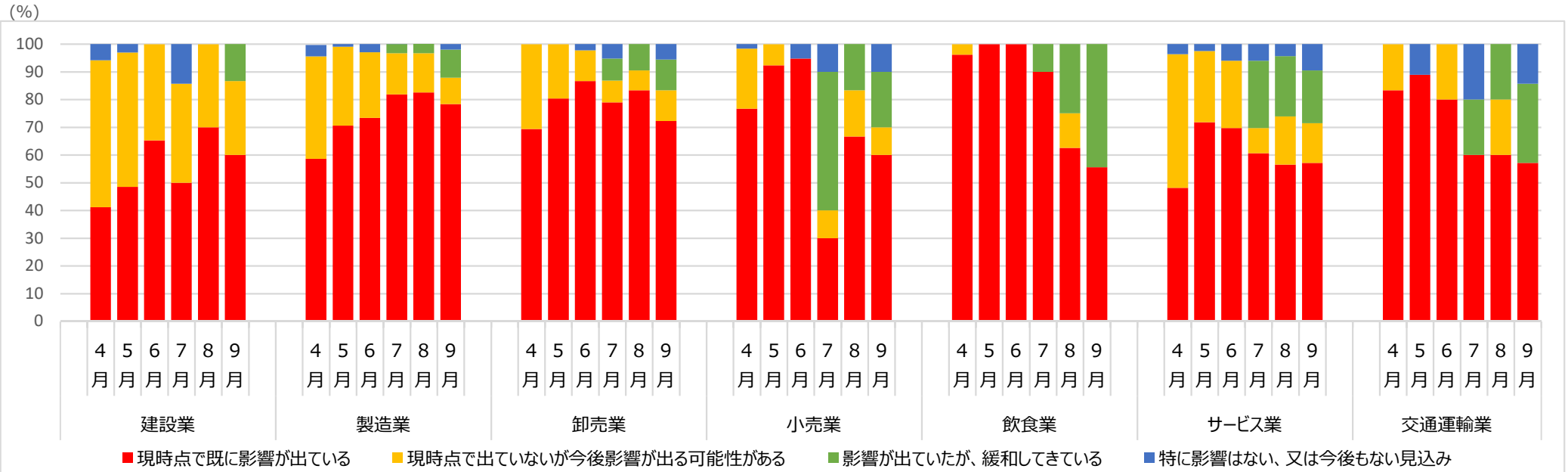


新型コロナウイルス感染症の市内経済への影響（令和2年9月度調査）

※市内企業へのアンケート、ヒアリング調査結果から

依然として対前年比売上は減少傾向が続くものの、全体的に徐々に影響緩和の動きが広がりつつあります。



(令和2年9月度 複数回答)

内訳	建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業	交通運輸業
製品・サービス等の受注・売上減少	80%	88%	78%	50%	89%	62%	71%
自社の生産拠点・仕入れ先の変更による調達コスト増	0%	6%	3%	0%	0%	0%	0%
サプライチェーンへの打撃による製品等の納期遅れ	7%	8%	11%	10%	0%	0%	0%
消費マインドの悪化に伴う客数減少	33%	7%	19%	60%	56%	24%	29%
従業員の休暇取得に伴う人手不足による企業活動の停滞	0%	4%	6%	0%	11%	0%	0%
従業員や顧客の感染予防策等に伴うコスト増	20%	14%	17%	20%	33%	29%	29%

アンケート及びヒアリング調査を通じた市内企業からの主な声

- ・例えば電線地下ケーブル化等、仕事につながる事業があるとより良い。（製造業）
- ・行政の行事を再開していかないと民間の自粛はなかなか緩まない（製造業）
- ・少し緩和されてきているが、来月はなってみないとわからないという状況（製造業）
- ・県外へ安心して出張させる方策が必要（製造業）
- ・新型コロナの影響はいつまで続くか不透明なので助成を続けてほしい（卸売業）
- ・クーポンのおかげで来店があり、新規顧客も増えありがたい（小売業）
- ・市の制度融資の創設を検討してほしい（金融業）
- ・クーポン券のおかげでお客様の動きが良くなった（飲食業）
- ・コロナを理由に会社からアルバイトを止められている（飲食業）
- ・持続化給付金、雇用調整助成金等、全てにおいてよく分からない（サービス業）